

着任の挨拶

校長 片岡 弘

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。4月に着任した校長の片岡弘と申します。人間発達科学部では化学を担当しています。校長として、お子様一人一人の健やかな成長を第一に考え、精一杯取り組みますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



本校のはじまりは明治10年までさかのぼります。以来140年を超える伝統は、保護者の皆様のご支援のもと、歴代の教職員および児童により形づくられ受け継がれて、現在に至っています。その間、広く国内外で活躍する卒業生を輩出して参りました。

これを可能にしてきた理由の一つとして、本校がもつ教員養成系学部の附属小学校としての役割があります。その役割とは、地域のモデル校として初等普通教育の先駆的な教育課題に取り組むこと、教育実習により次の時代の教育を担う人材を育成すること、そして、現代的教育課題に対応する教員養成の在り方を学部や大学院と協力して研究することです。

この役割を果たすために、本校は継続して教育の理論・実践研究に取り組んでまいりました。昨年度からは、新しい研究主題「深い学びの実現に向けた教育課程の創造～子供が問いをつくるための教師の手立てを明らかにする～」を設定しました。子供が学びのなかで自ら問いを立てるための手立てについて、本校の教員が様々な研究を精力的に進めているところです。その成果の一端は、本年6月15日（金）に開催する教育研究発表会でもご紹介いたします。

今後、こうした役割の重要性はますます増していくものと思われまます。教職員と協力して、教育をとりまく状況の変化に柔軟かつ迅速に対応することで、新しい伝統をつくりだしていく所存です。保護者の皆様におかれましても、本校の役割を十分にご理解いただき、今後も変わらぬ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。